

利根町が実施している 公共交通事業について

～現状と今後の方向性～

【資料3】

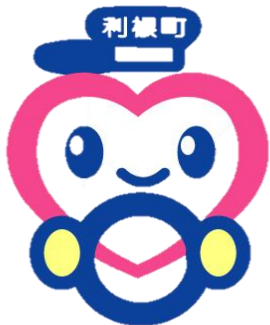
○運行時間○

便	運行開始時間
1便	8:00
2便	9:00
3便	9:30
4便	10:30
5便	11:00
6便	12:00
7便	13:30
8便	14:30
9便	15:00
10便	16:00

1 ふれ愛タクシーに関すること

【現状】

- ・平成20年度から町内のタクシー事業者への運行業務委託により運行開始
- ・2台のワゴンタイプのドアツードアの乗合タクシーとして運行（1日10便）
- ・運行先 町内全域，龍ヶ崎市の一部，河内町の一部（利根町との境界に接する場所），スポットで竜ヶ崎駅，龍ヶ崎済生会病院へ乗入れ
- ・料金 町内300円，竜ヶ崎駅400円，龍ヶ崎済生会病院500円
（3歳～未就学児半額，3歳未満無料）



【ふれ愛タクシー実績】 (R3.4~R3.10)

【資料3】

- ・ 1日あたり平均利用者数 33.4名
- ・ 1便あたり平均利用者数 3.7名
- ・ 1か月の平均運行日数 20日

行き先別利用者数集計 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	割合
町内～町内	435	441	486	507	505	508	459	3,341	70%
済生会病院(送り・迎え)	193	135	212	150	160	162	197	1,209	25%
竜ヶ崎駅(送り・迎え)	15	21	34	32	34	44	51	231	5%
利用者数 計	643	597	732	689	699	714	707	4,781	100%

○済生会病院 (送り) ①1便(8:00) ②3便(9:30) ③2便(9:00)の順に利用者が多い

○済生会病院 (迎え) ①7便(13:30) ②6便(12:00) ③8便(14:30)の順に利用者が多い

※R3年10月実績より

2 福祉バス（福ちゃん号）に関すること

【現状】

福祉バス（福ちゃん号）は保健福祉センターを起点に、役場などの公共施設、金融機関、町内の医療機関付近、大利根交通バス停北方車庫に設けた停留所を巡回しながら、2台の車両により2つのコース（内回り・外回り）を1日延べ11回ルート巡回し運行

- ・ 利用対象者：乗降りが自分でできる方であれば誰でも利用可能
- ・ 利用料金：無料
- ・ 運行日：平日と第1・3・5土曜日 但し土曜日が祝日の場合は運休
* 第2・4土曜日、祝日、年末年始は運休



【福祉バス（福ちゃん号）実績】（R3.4～R3.10）

【資料3】

- ・ 1日あたり平均利用者数 25.4名
- ・ 1便あたり平均利用者数 2.3名
- ・ 1か月の平均運行日数 26.8日

コース別利用者数集計（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	割合
内回り	456	315	393	370	285	263	377	2,459	60%
外回り	318	186	224	258	192	184	271	1,633	40%
利用者数 計	774	501	617	628	477	447	648	4,092	100%

【乗降者数の多いバス停】

内回り：①保健福祉センター ②ランドローム前 ③カスミ前 ④公園前 ⑤羽野台区民センター前
 外回り：①保健福祉センター ②カスミ前 ③旧わくわく広場前 ④ランドローム前 ⑤利根町役場

※R3年4月実績より

3 今後の方向性について 【課題の抽出】

●今回実施した2つのアンケート調査の結果により、把握できたこと

- ① 70代の夫婦で生活している方々は、車を所有している方が多く移動手段に困っている方は少ない。
→ 交通弱者と言われる方々の潜在的な予備軍が多い。
- ② 買い物、通院の行き先は主に町内であるが、町外へ行っている方も一定数いる。
→ 運転ができなくなった場合、町外への移動手段が限られてしまう。
- ③ 回答者のうち、運転ができなくなった場合公共交通の利用を希望する方が半数近くいる。
→ 公共交通の利便性を向上させ、利用者の増加を図ることが必要。
- ④ ふれ愛タクシー利用者のうち、町外への行先追加に対し、利用料金が多少値上がりしても実現してほしいと回答した方が半数近くいる。
→ ふれ愛タクシーは現在、町外行先は龍ヶ崎方面のみとなっており、その他への運行は行っていない。

3 今後の方向性について【課題の抽出】 続き

●今回実施した2つのアンケート調査の結果により、把握できたこと

- ⑤ 福ちゃん号に対する意見で、利便性が低いなどのほか、運行時間・路線など利用方法がわからないとの意見が一定数あった。
 - 案内・周知方法等の改善により利用率の向上を図ることが必要。
- ⑥ 2つのアンケート調査の行先追加希望調査（自由記入）では、最も希望が多かったのが「JAとりで総合医療センター」で、次いで「布佐駅」「取手駅」の順であった。
 - 取手方面、千葉県側への乗り入れは行っておらず、新たな方面への乗り入れ先の追加は利便性の向上につながる。しかし一方で、乗り入れ先の追加は他の交通事業者との調整が必須のため、慎重な検討が必要。
- ⑦ 町の公共交通の利用率は全体的に低水準となっている。
 - 車所有の方が多いこともあるが、公共交通に関する周知や利便性の向上などの対策が必要。



4 今後の方向性について【提案】

●町の公共交通の利便性向上を目的とし、以下の事を提案

① ふれ愛タクシーの1台増車

→ デマンド型乗合タクシーを増車することで、さらなる機動力を確保し利用者の利便性の向上に資することが出来る。

② 乗り入れ先の追加（JAとりで総合医療センター）

→ 町内に総合病院がない本町にとって、2つのアンケート調査で特に希望が多かった「JAとりで総合医療センター」への乗り入れを追加し町民の選択肢を増やすことで利便性の向上を図ることが出来る。また、これからさらに進展していく超高齢化社会に備えることが出来る。

③ ふれ愛タクシーや福ちゃん号の利用率の向上

→ 利用方法や運行時間、運行経路等のさらなる周知が必要。

